

あきる野市の現状について（強み・弱み・プラスの外部要因・マイナスの外部要因）

各種統計やアンケート調査結果等を踏まえ、あきる野市の強みと弱み、あきる野市を取り巻くプラスとマイナスの外部要因を整理

<p style="text-align: center;">【あきる野市の強み(S)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○東京都の縮図のような多様な環境(都市環境、山林、川) ○恵まれた自然環境 ○比較的安価な地価 ○豊富な観光資源(東京サマーランド、秋川渓谷、バーベキュー場等) ○一般国道468号(圏央道)の整備効果による高い交通利便性と交通量の増加 ○町内会・自治会加入率の高い地区が多い ○地域コミュニティの強さ ○良好な治安(多摩地域内でも相対的に低い刑法犯認知件数) ○都内屈指の長い健康寿命 ○先端技術(ドローン)活用に向けた研究・開発 	<p style="text-align: center;">【プラスの外部要因(O)】</p> <ul style="list-style-type: none"> □地方創生の推進 □持続可能な開発目標(SDGs)の推進 □働き方改革の推進による一億総活躍社会の進展 □インバウンド観光の活況とコト消費の広がり □シェアリングエコノミーの広がり □東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催 □「関係人口」の増加 □ICT、IOT、AI活用の進展
<p style="text-align: center;">【あきる野市の弱み(W)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自然動態(出生減・死亡増)の悪化に伴う人口減少 ●人口減少に伴う空き地や空き家増加の懸念 ●商店街組織等の衰退 ●農業経営者の高齢化 ●市内外へのアクセスの不便さ ●高齢化の進展等に伴う市民活動の停滞 ●老朽化した公共施設等の更新 ●財政基盤の弱さ(実質公債費比率、将来負担比率等) 	<p style="text-align: center;">【マイナスの外部要因(T)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■全国的な人口減少・少子高齢化の進展 ■地方創生の本格化がもたらす自治体間競争の激化(定住人口増加策、シティプロモーション戦略の展開) ■人口減少に伴う消費縮小と人手不足の深刻化 ■社会資本の老朽化 ■ICT、IOT、AI活用に伴う社会変化への対応(産業・就業構造の転換に対応できない労働者が発生した場合のフォロー等)